

令和7年度産業標準化事業表彰の受賞について

2025年10月22日

公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所の職員が、「令和7年度産業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰ならびにイノベーション・環境局長表彰」を受賞しましたのでお知らせします。なお、表彰式は10月21日（火）に、東京都千代田区（都市センターホテル）において行われました。

記

○令和7年度産業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰

JIS・国際規格の策定やこれらに係る適合性評価活動（関連する人材育成、教育、研究、広報、普及・啓発、国際協力などの活動も含む。以下同じ。）、標準化を活用した産業横断的、特定産業又は企業の市場創出や社会課題の解決等において、他の模範となるような顕著な功績があった個人又は組織に対する表彰です。

（経済産業省「産業標準化事業表彰」より）

受賞者：研究開発推進部 主管研究員（リサーチチューター） かわさき くにひろ 川崎 邦弘

【主な功績】（経済産業省発表）

鉄道の電波環境に関する測定評価法の開発と標準化に長く取り組み、IEC/CISPR（国際無線障害特別委員会）及び IEC/TC9（鉄道用電気設備とシステム）の双方で鉄道用 EMC 国際規格の制定と維持に大きく貢献。また、鉄道の安全・安定運行を支える無線通信システムに関しても、ITU-R（国際電気通信連合無線通信部会）での周波数協調に関する文書策定に貢献。さらに、総務省のワイヤレス電力伝送に関する法制度整備や、ISO/TC269/SC3（オペレーションとサービス）での標準化活動にも携わっており、国内外の鉄道における電波環境保全に貢献するとともに、日本の鉄道通信技術の国際競争力向上に貢献。



経済産業大臣表彰受賞者 川崎 邦弘

○令和7年度産業標準化事業表彰 イノベーション・環境局長表彰

JIS・国際規格の策定やこれらに係る適合性評価活動、標準化を活用した産業横断的、特定産業又は企業の市場創出や社会課題の解決等に関与し、今後の更なる活躍が期待される原則40代以下又は活動年数が原則10年以下の個人、また、これらの活動において他の模範となるような貢献があった組織に対する表彰です。

(経済産業省「産業標準化事業表彰」より)

受賞者：信号技術研究部 運転システム 主任研究員 くまざわ かずまさ 熊澤 一将

【主な功績】（経済産業省発表）

ISO/TC269（鉄道分野）/SC3（オペレーションとサービス）/WG3（輸送計画）の準備段階から輸送計画のコアメンバー会議委員として、日本の鉄道が有する高い定時性や高密度の列車運行等を支える輸送計画の技術について、国内の鉄道事業者等との意見交換等を精力的に進め、その技術の体系的な整理と国際規格開発の方向性の明確化に貢献。2018年7月からはエキスパートとして、主要国との規格開発の合意形成の促進に加え、日本がこの規格開発を主導すべく信頼関係も醸成。これにより、ISO24675-1（鉄道分野－輸送計画のための運転時分計算－第1部：要求事項）の発行、続く第2部の開発推進に貢献。



イノベーション・環境局長表彰受賞者 熊澤 一将